

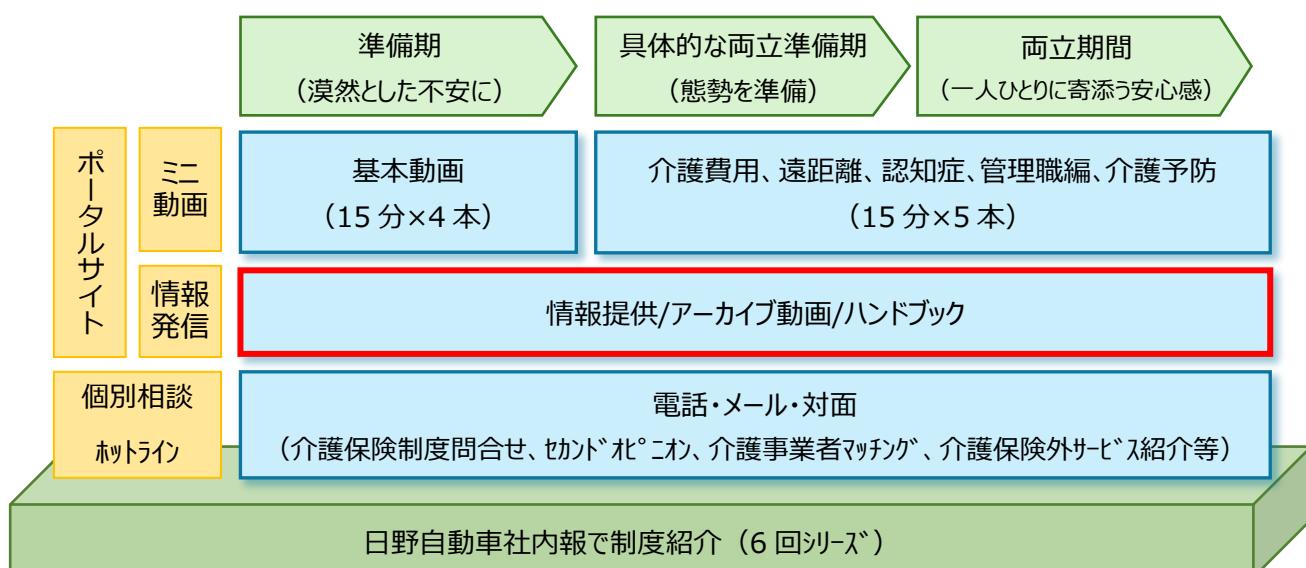
「仕事介護の両立支援制度」紹介 6 回シリーズ⑤介護のこと、ご家族と話し合えていますか？？

ご存じですか？全国 1 年間で 10 万の方方が介護離職しています

2025 年問題（団塊世代が後期高齢者となる）当年となり、中高年の方はもちろん、20～30 代の若い世代までもが親・祖父母の介護に直面する可能性が高まっており、多くの方が漠然とした不安をお持ちだと思います。

福祉共済基金では 2017 年から介護の専門家(株)ベネッセ・シニアサポートと提携し介護離職防止に向けた支援策を導入しています。

「仕事と介護の両立支援」制度



今回のテーマ

仕事と介護の両立支援 介護のこと、ご家族と話し合えていますか？？

日野自動車社内報「フロントランナー」(2025 年 11 月号) に掲載された記事をご紹介します。

→ 詳細は次ページをご覧ください。

【お問い合わせ先】日野自動車福祉共済基金 fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp

[日野自動車福祉共済基金ホームページ](#)

お役立ち k i k i n

#07

仕事と介護の
両立支援制度
第5回目

「福祉共済基金って、ワタシと関係あるの？お祝い事やお悔やみ事もないし…」

実は“仕事と介護の両立支援”や“ご家族の終活支援”など

お役に立てるることをいろいろやっています！会員の皆様にぜひ知りたいことを、

6回シリーズで「仕事と介護の両立支援」制度についてご紹介します。

介護のこと、ご家族と話し合えていますか??

経済産業省が発表した仕事と介護の両立が難しい理由の調査では、上位に「家族・親族の理解・協力の不十分さ」があります。(出典:経済産業省における介護分野の取組について 2024年3月 経済産業省 ヘルスケア産業課)



事前に家族間で話し合いをしていなかったため、急に介護が始まった際に、例えば、介護の負担割合について「兄弟間で意見が違い、もめてしまった」といった困りごとが発生したり、「親の意向が分からない」ため、介護サービスの利用を拒むかもしれないと考え、自ら介護を担った結果、仕事との両立が難しくなってしまったことがあります。

介護が始まってから介護について考えるのではなく、事前に話し合うことが大切です。

何をきっかけに、何を話せばよいのかわからぬ そんな時はハンドブックを使っこコミュニケーションを！

福祉共済基金では、家族の介護を一人で抱え込むことなく、ご両親の人生を、そして皆さんの人生を大事にしていただくために活用できる、“仕事と介護の両立”に関するオリジナルハンドブックを各種ご用意しています。

ご家族と一緒にご覧になりながら、ハンドブックを使って介護について話し合ってみませんか。

すべてスマート
フォンや
パソコンでHPから
閲覧できます

仕事と介護 両立のためのハンドブック



こんなこと、
考えたこと
ありませんか？
解決のヒントが
載っています

- 仕事と介護の両立をする際の心構えを知りたい
- 親が介護についてどのように考えているのか、よくからない

仕事と介護の両立シリーズ ムック



- まだ親も若いし、介護はいつから始まるのかわからないので、少し他人事な気がする
- 介護が始まると、どのような人が協力してくれるのか確認したい



- 親の物忘れが気になり、認知症ではないかと心配
- 認知症と親が診断された。今後の生活を考えたい



- 親が急に倒れた場合に備え、予備知識を持っておきたい
- 入院から退院、その後の流れ、職場に伝えておいた方が良いことなどを整理したい



- 親が最期をどのように迎えたいと考えているのか、気持ちを知りたい
- 後悔しない介護ができるか不安

ご自身ではなくても、上司、部下、同僚などが介護をしている場合に、どのようなことに困っているのかを知るヒントにもなります。

全ての情報はホームページにあります！

- ハンドブックはこちらから…福祉共済基金ホームページ▶介護情報の提供と相談窓口
URL <https://www.hinofukushikyosai.jp/#kaigo>

QRコード
<スマートフォン対応>

- お問合せ先 HIMAILアドレス「福祉共済基金本部事務局」
(fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp)

担当者不在の場合もありますので、メールでのお問合せにご協力をお願いいたします。

